

2026年4月17日

エイコーエナジオ株式会社
安平町
株式会社あびらエナジー

安平町ゼロカーボンシティ実現に向け、 出資設立した「株式会社あびらエナジー」が 「あびら再生可能エネルギー地産地消モデル」事業を本格始動

—安平町・北海道銀行と連携し、2030年公共施設再エネ100%を目指す—

エイコーエナジオ株式会社（以下「当社」）は、2023年6月に北海道安平町（以下「安平町」）と「安平町ゼロカーボンシティの実現に向けた連携協定」を締結して以来、ゼロカーボンシティ推進協議会の事務局として安平町の脱炭素施策を一貫して支援するとともに、環境省補助事業における再生可能エネルギー導入可能性調査等も担ってまいりました。こうした取り組みを経て設立した地域エネルギー会社「株式会社あびらエナジー」（以下「あびらエナジー」）は、安平町および北海道銀行と連携し、再生可能エネルギーの地産地消を実現する「あびら再生可能エネルギー地産地消モデル」事業を開始しましたのでお知らせいたします。

本事業は、環境省「令和7年度重点対策加速化事業」に採択されており、2030年までに安平町内公共施設の使用電力を100%再生可能エネルギーで賄うことを目標としています。また、事業資金は北海道銀行との「ほくほくサステナブルファイナンス（グリーンローン型）」契約（融資金額：839百万円）により調達されており、透明性の高い持続可能な事業運営を実現します。

【事業の背景】

2018年の北海道胆振東部地震では北海道全域が停電するブラックアウトが発生し、安平町においても地域エネルギー供給の脆弱性が顕在化しました。この経験を契機として、安平町は脱炭素・レジリエンス強化に向けた取り組みを本格化させ、2024年1月に「ゼロカーボンシティ宣言」を表明しました。当社はその準備段階から関与し、2023年6月の連携協定締結後は安平町ゼロカーボンシティ推進協議会の事務局を担うとともに、環境省補助事業による再生可能エネルギー導入可能性調査を実施。これまでの調査・支援実績を基盤として地域エネルギー会社「株式会社あびらエナジー」を設立し、その後、複数の民間企業および安平町が資本参加し、官民連携による透明性の高い事業体制を構築しています。

【事業概要】

事業名称	あびら再生可能エネルギー地産地消モデル（環境省重点対策加速化事業）
事業主体	株式会社あびらエナジー
事業期間	令和7年度～令和12年度（2025年度～2030年度）
総事業費	17.1億円（環境省交付金：7.6億円）
設備容量	太陽光発電：DC 5,724.97kW / AC 3,540.00kW 蓄電池：1,740kWh
設置箇所	太陽光発電：計24箇所（公共施設16箇所含む）蓄電池：22箇所
目標	2030年までに公共施設の使用電力100%再生可能エネルギー化

【本事業の特徴】

- ①地域協議会による合意形成プロセスを採用
→計画段階から地域住民等が参画し、意見を反映
- ②地産地消によるエネルギーの域内循環を実現
- ③グリーンローンを活用した透明性の高い事業運営
- ④災害に強い地域インフラとしての再エネ導入

【今後の展開】

当社は本事業を、他地域にも応用可能なモデルケースとして位置づけています。地域の自然環境や景観との調和を重視しながら、各地域の特性に応じた持続可能な地産地消型エネルギーモデルの構築・展開を推進してまいります。

【エイコーエナジオ株式会社について】

エイコーエナジオ株式会社は、地域と連携した再生可能エネルギー事業の開発・運営を行う会社です。安平町との連携協定のもと、地域エネルギー会社「株式会社あびらエナジー」の設立／運営を主導し、脱炭素社会の実現と地域活性化の両立を目指しています。

【本件に関するお問い合わせ】

エイコーエナジオ株式会社

MAIL : info@energio.jp

TEL : 06-7177-3789